

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●都市デザイン部		
	節	1	自然と調和した都市空間づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	自然環境と調和した均衡ある土地利用が図られたまちづくりが進められています。また、地域の特性を活かしたまちづくりが進められています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 土地利用方針図に沿った土地利用が図られている面積	372.3ha	—	—	—	—	392.4ha	—	—	—	—	446.6ha
	—	372.3ha	372.3ha	372.3ha	372.3ha	390.4ha					
② 都市計画制度や「八潮市みんなでつくる美しいまちづくり条例」により地域特性を活かしたまちづくりが行われている面積	48.3ha	—	—	—	—	92.3ha	—	—	—	—	166.3ha
	—	92.3ha	93.3ha	93.3ha	123.3ha	123.3ha					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 均衡ある土地利用の推進	3,546	1	1	0	0	都市計画課
2 地域の特性を活かしたまちづくりの推進	3,957	2	1	1	0	都市計画課、開発建築課
3 都市核と地域核の形成	8,303	2	0	1	1	都市計画課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	15,806	5	2	2	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	1	自然と調和した都市空間づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画制度等の運用により、自然環境と調和した均衡ある土地利用を推進します。 ・都市計画法に基づく開発許可等の事務を適正に執行します。 ・八潮市みんなで作る美しいまちづくり条例の運用により、地域特性を活かしたまちづくりを推進します。また、市民主体による活動へ支援します。 ・北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画に基づき、（仮称）外環八潮パーキングエリアの整備に併せ、交通施設の設置や流通業務機能や集客施設などを主体とした拠点の形成を図ります。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ・都市計画審議会を3回開催し、生産緑地地区等の都市計画変更手続を行った。 ・都市計画マスタープラン見直しのため、庁内検討会や有識者から意見を聴きながら見直しの基本方針を策定した。 ・都市計画法に基づく開発行為許可申請等及びまちづくり条例に基づく開発事業申請等について適正に事務を執行した。 ・開発登録簿を電子化し、事務の効率化を図った。 ・新たな自主まちづくり活動助成団体を1団体認定した。 ・（仮称）外環八潮スマートICの整備に向け、国土交通省等に対し、要望活動を行うとともに、国等の関係機関と勉強会を開催した。		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画、緑の基本計画等との整合や社会経済状況の変化を見据えた都市計画マスタープランの見直しが必要である。 ・まちづくり条例の各開発事業手続に運用上の課題がある。 ・自主まちづくり活動の制度利用が少ないため、さらなる制度の周知を行う必要がある。 ・（仮称）外環八潮PAについては、用地の売買契約に着手したが、（仮称）外環八潮スマートIC整備及び国の準備段階調査箇所への選定に向け、関係機関と調整が必要である。また、（仮称）入谷東西線及び道の駅の検討については、スマートICの検討状況を踏まえ検討していく必要がある。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの見直し基本方針を策定した。 ・北部拠点では東日本高速道路(株)が用地の売買契約に着手した。 ・まちづくり条例に基づく、市民・事業者との協働による良好なまちづくりを誘導することができた。また、開発登録簿の電子化により、市民サービスの向上等が図られた。 以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																					
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画等や社会経済状況の変化に対応したまちづくりを進めていくため、八潮市都市計画マスタープランの見直しを行う。 ・まちづくり条例の運用状況を踏まえ、各開発事業に係る手続の見直しについて、効果的、効率的な手続に向けた見直しについて検討を進める。 ・自主まちづくり活動について、周知及びPRを図る。 ・（仮称）外環八潮スマートICの準備段階調査箇所への選定に向け、国等への要望活動を行うとともに、関係機関との調整を進める。 																																					
<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業（部で5事業まで）																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>均衡ある土地利用の推進</td> <td>都市計画基本事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>都市核と地域核の形成</td> <td>北部拠点まちづくり事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>地域の特性を活かしたまちづくりの推進</td> <td>協働による開発事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>地域の特性を活かしたまちづくりの推進</td> <td>地区計画制度活用促進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	05	01	01	均衡ある土地利用の推進	都市計画基本事業	2	05	01	03	都市核と地域核の形成	北部拠点まちづくり事業	3	05	01	02	地域の特性を活かしたまちづくりの推進	協働による開発事業	4	05	01	02	地域の特性を活かしたまちづくりの推進	地区計画制度活用促進事業	5					
章	施策コード		施策の内容	事務事業																																		
	節	施策																																				
1	05	01	01	均衡ある土地利用の推進	都市計画基本事業																																	
2	05	01	03	都市核と地域核の形成	北部拠点まちづくり事業																																	
3	05	01	02	地域の特性を活かしたまちづくりの推進	協働による開発事業																																	
4	05	01	02	地域の特性を活かしたまちづくりの推進	地区計画制度活用促進事業																																	
5																																						

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	01	01	都市計画基本事業	■		■	都市デザイン部	都市計画課	3,546	●	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	01	02	地区計画制度活用促進事業				都市デザイン部	都市計画課	0	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	01	02	協働による開発事業	■			都市デザイン部	開発建築課	3,957	○	☆☆	見直して継続	現状維持	増加
■	05	01	03	北部拠点まちづくり事業		■	■	都市デザイン部	都市計画課	8,303	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	01	03	西部拠点形成事業				都市デザイン部	都市計画課	0	●	☆	現状のまま継続	増加	増加
										15,806	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●都市デザイン部		
	節	2	快適で住みやすい市街地づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市街地の整備が進み、快適で住みやすいまちになっています。また、八潮駅周辺を中心として、良好な都市空間が形成され、多くの市民が集い、にぎわいのある街並みとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 大瀬古新田土地区画整理事業の進捗率 (街路築造率)	47.40%	—	—	—	—	75%	—	—	—	—	95%
	—	50.8%	54.1%	55.1%	55.2%	56.2%					
② 西袋上馬場土地区画整理事業の進捗率 (街路築造率)	12.90%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	75%
	—	15.3%	17.0%	18.2%	18.2%	19.5%					
③ 八潮南部東一体型特定土地区画整理事業の進捗率 (街路築造率)	62.50%	—	—	—	—	90%	—	—	—	—	100%
	—	64.2%	64.2%	64.6%	64.6%	65.5%					
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 土地区画整理事業の推進	3,733,846	13	4	2	7	都市計画課、区画整理課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	3,733,846	13	4	2	7	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	2	快適で住みやすい市街地づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・稲荷伊草第二土地区画整理事業については、令和2年度中の換地処分を目指すとともに、鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業についても、早期換地処分を目指し事業を推進します。 ・大瀬古新田及び八潮南部東一体型特定土地区画整理事業については、保留地処分や国庫補助金及び他会計からの繰入金等による事業費確保に努め事業を推進します。 ・西袋上馬場土地区画整理事業については、草加三郷線及び西新一号線の早期開通と事業見直しに向けた取り組みを実施します。 ・八潮南部西一体型特定土地区画整理事業については、施行者である埼玉県を支援するとともに、連携して事業推進を図ります。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の進捗状況は、稲二地区は令和3年1月29日に換地処分となった。鶴二地区の街路築造及び建物移転率は99.7%、99.7%、大古地区が56.2%、66.6%、西上地区が19.5%、24.7%、南部東地区が65.5%、71.8%となった。 ・西上地区は事業見直し方針を定め、設計図及び事業計画の変更案を作成した。 ・県が施行する南部西地区の進捗状況は、82.9%、92.5%となった。 ・保留地の処分状況は、大古地区が4区画512㎡、48,823,800円、南部東地区が6区画、1,027㎡、173,331,000円であった。 		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの施行地区を同時に進めていることから、資金及び技術者不足等により全体的に事業が長期化しており、地権者の不満が高まっている。 ・保留地の整備に多くの時間と費用を要し、保留地販売が進まず、事業費確保が困難な状況にある。 ・国庫補助金の予算額に対する内示率は約40%となっており、また、他会計からの繰入金の増額等が難しいことから事業の推進に支障をきたしている。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆ 遅れ	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進捗ペースでは、各地区において定めた成果指標「街路築造率」の目標達成は困難な状況である。 以上のことから総合評価を「遅れ」とした。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・鶴二地区については、調整池整備等を進め、早期の換地処分を目指す。 ・西上地区については、事業計画の見直しにより、計画的且つ効率的な事業推進を図る。 ・大古地区、南部東地区については、財源確保に努め、計画的且つ効率的な事業展開の検討を行い、事業推進を図る。 ・土地区画整理事業の国土強靱化計画への位置付け等により、国庫補助金の確保に努める。

重点事業（部で5事業まで）

	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	05	02	01	土地区画整理事業の推進	西袋上馬場土地区画整理事業
2	05	02	01	土地区画整理事業の推進	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業
3	05	02	01	土地区画整理事業の推進	大瀬古新田土地区画整理事業
4	05	02	01	土地区画整理事業の推進	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業
5	05	02	01	土地区画整理事業の推進	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理促進事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	02	01	稲荷伊草第二土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	162,195	—	☆☆☆	見直して継続	削減	現状維持
■	05	02	01	西袋上馬場土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	683,064	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	大瀬古新田土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	437,598	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	970,030	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	86,000	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	稲荷伊草第二土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	170,000	—	☆☆☆	見直して継続	削減	現状維持
■	05	02	01	八潮南部西一体型特定土地区画整理促進事業				都市デザイン部	区画整理課	115,347	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	02	01	西袋上馬場土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	346,475	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	大瀬古新田土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	180,543	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	八潮南部東一体型特定土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	383,260	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	80,000	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	南部整備促進事業				都市デザイン部	区画整理課	119,332	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	02	01	東部拠点形成事業				都市デザイン部	都市計画課	0	○	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										3,733,846	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 企画財政部	生活安全部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり		建設部	都市デザイン部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	74.1%	75.1%	77.8%	77.8%	78.1%					
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%	74.8%	75.8%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	167,550	2	1	1	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	95,665	2	1	1	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	335,267	4	2	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	59	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	95	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	31,623	1	0	1	0	交通防犯課
8						
9						
計	630,259	11	4	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	地下鉄8号線の導入促進 ・市内を南北に縦断する都市鉄道の導入をめざし、関係自治体と連携して積極的な活動を行う。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会の一員として国土交通大臣、埼玉県知事、千葉県知事及び茨城県知事に対し、八潮～野田市間の先行整備及び茨城県西南部への延伸についての要望を行った。 同盟会に研究部会が設置され、国から示された地下鉄8号線の事業化における課題の解決に向け、課題の整理や沿線開発の検討等を行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	平成28年4月20日の交通政策審議会の答申において、押上～野田市間が「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクトとして位置付けられたが、現段階では整備着手の時期が未定である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	同盟会の構成市町と連携し、要望活動や事業化に向けた課題の整理、検討などに取り組んでおり、概ね順調と評価した。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 → <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) 今後も同盟会の構成市町と連携した上で、国土交通大臣、埼玉県知事、千葉県知事及び茨城県知事に対し、地下鉄8号線建設の早期実現に向け、積極的な働きかけを行う。 また、令和3年度から令和6年度までの4か年をかけ、平成25年度及び26年度に実施した地下鉄8号線事業化調査以降の社会情勢の変化を踏まえ、八潮～野田市間の路線建設計画の検討、概算建設費・需要予測・収支予測の算定、費用便益分析等に関する調査を実施し、その結果を踏まえ、取組を進める。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>06</td> <td>地下鉄8号線の導入の促進</td> <td>地下鉄8号線導入促進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	03	06	地下鉄8号線の導入の促進	地下鉄8号線導入促進事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	05	03	06	地下鉄8号線の導入の促進	地下鉄8号線導入促進事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主 体	施策コード			事務事業名	主 要	戦 略	公 約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	05	03	01	都市計画道路整備事業	■			建設部	道路治水課	162,362	●	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	5,188	●	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	03	02	道路用地取得事業				建設部	道路治水課	34,939	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	03	02	道路改良等事業	■			建設部	道路治水課	60,726	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11,571	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	道路維持事業	■			建設部	道路治水課	232,392	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	橋りょう維持事業	■		■	建設部	道路治水課	71,993	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	道路管理事務				建設部	道路治水課	19,311	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	05	つくばエクスプレス利便性向上事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	59	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	06	地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	95	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	07	路線バス網整備促進事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	31,623	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
										95 部の事業費計					

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●	生活安全部	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり			建設部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	74.1%	75.1%	77.8%	77.8%	78.1%					
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%	74.8%	75.8%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	167,550	2	1	1	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	95,665	2	1	1	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	335,267	4	2	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	59	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	95	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	31,672	1	0	1	0	交通防犯課
8						
9						
計	630,308	11	4	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	0
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・バス交通の充実 コミュニティバスを含むバス路線網の充実や利便性向上に努めるとともに、そのために必要な八潮市地域公共交通計画を策定します。また、高齢化の進展などを踏まえノンステップバスの導入を促進します。 ・つくばエクスプレスの利便性の向上 沿線自治体と連携して、東京駅延伸、1編成8両化の早期実現に向け要望活動を行います。また、あわせて八潮駅への快速列車の停車と始発の増便を市独自で要望活動を行います。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの利用者が年間85,861人、1日あたり約235人、1便あたり約7.1人でした。 ・東武バス(株)が購入したノンステップバス6台に対し、補助金3,995,000円（県の500,000円含む）を交付しました。 ・八潮市地域公共交通協議会を開催し八潮市地域公共交通計画の策定に向けた検討を行いました。 ・首都圏新都市鉄道(株)に対し、東京駅延伸、1編成8両化の早期実現、快速列車の停車、高架下を有効に活用した自転車駐車場の整備について要望しました。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定にあたっては、特に新型コロナウイルス感染症がバス事業者の経営に及ぼす影響を考慮する必要がある。 ・混雑緩和策として実施する1編成8両化について、新型コロナウイルス感染症の収束状況とその後の社会情勢を見極めながら対応することが求められる。 ・東京駅延伸は、関連する鉄道路線（事業構想）の動向と東京都や埼玉県等の協力が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでの想定や考え方が大きく変わろうとしていることを考慮しながら八潮市地域公共交通計画を策定するとともに、TXの利便性向上を図るための要望活動等を実施していたことから概ね順調と評価する。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	(説明)		
<ul style="list-style-type: none"> ・八潮市地域公共交通計画の策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ現状の課題や将来の展望に対応した公共交通網の構築を図る。 ・1編成8両化については、鉄道事業者の経営状況を見極めながら沿線自治体と連携して取り組む。 ・東京駅延伸については、交通政策審議会の答申を踏まえて臨海地域（中央区）の動向を注視するとともに、必要に応じて沿線7市と連携して取り組む。 			
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	05 03 07		路線バス網整備促進事業
2	05 03 05		つくばエクスプレス利便性向上事業
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	05	03	01	都市計画道路整備事業	■			建設部	道路治水課	162,362	●	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	5,188	●	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	03	02	道路用地取得事業				建設部	道路治水課	34,939	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	03	02	道路改良等事業	■			建設部	道路治水課	60,726	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11,571	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	道路維持事業	■			建設部	道路治水課	232,392	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	橋りょう維持事業	■		■	建設部	道路治水課	71,993	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	道路管理事務				建設部	道路治水課	19,311	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	05	つくばエクスプレス利便性向上事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	59	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	06	地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	95	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	07	路線バス網整備促進事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	31,672	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
										0部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●建設部	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり		生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	74.1%	75.1%	77.8%	77.8%	78.1%					
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%	74.8%	75.8%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	167,550	2	1	1	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	95,665	2	1	1	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	335,267	4	2	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	59	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	95	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	31,672	1	0	1	0	交通防犯課
8						
9						
計	630,308	11	4	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	建設部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が推進する施策の概要	<p>(1) 幹線道路の整備：主要幹線道路である国道や県道、橋りょう等の道路整備を促進するとともに、都市計画道路の整備を促進する。</p> <p>(2) 生活道路の整備：生活道路の新設や改良等を行うとともに、歩行者や自転車等の通行に配慮した道路整備を推進する。</p> <p>(3) 道路環境の整備：道路の清掃や放置自転車対策を実施し、安全な道路環境の保全に努める。</p> <p>(4) 道路維持管理の充実：道路補修業務と道路パトロールの強化による危険箇所の早期発見、早期対応に努め、事故を未然に防ぐ道路復旧体制を構築し、適正な維持管理を行う。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>(1) 幹線道路の整備：潮止橋橋りょう整備事業の基本協定書締結。県施行の都市計画道路（草加三郷線）における建設負担金の支出。</p> <p>(2) 生活道路の整備：道路改良工事 212m、道路用地測量 107m実施。</p> <p>(3) 道路環境の整備：道路清掃、街路樹管理</p> <p>(4) 道路維持管理の充実：道路維持工事 933m、応急工事 58件、市民要望職員対応 422件、橋りょう定期点検88橋、橋りょう補修工事 1橋、道路パトロール（道路維持管理）業務委託 1件</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<p>(1) 幹線道路の整備：潮止橋架け替えに向けて、今後、検討すべき事項が増加する。また、用地取得等の経験者が少なく、整備を進める体制が整っていない。</p> <p>(2) 生活道路の整備：生活道路の新設、改良等の要望は、多数要望されており、計画的に実施する必要がある。</p> <p>(3) 道路環境の整備：街路樹の育成に伴う管理費やゴミ処分費の増大により、経費の縮減が難しい。</p> <p>(4) 道路維持管理の充実：国庫補助金の交付率が低く、舗装修繕が計画どおりに進めることができない。さらに、修繕箇所が増加に伴い、管理瑕疵の発生が懸念される。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>・都市計画道路整備率及び市道改良整備率は、目標を達成していること、道路パトロール業務委託を実施し道路の不具合箇所等の発見、応急処置の対応ができたこと、また、長年、懸案となっていた潮止橋の架け替えの事業化が見込まれたことなどから、概ね順調と判断した。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																						
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮止橋や北部関係、更には今後、新規に着手する都市計画道路整備の執行体制については、関係部局と協議、検討を行っていく。 ・舗装個別施設計画及び橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、維持修繕の優先順位や工事内容を考慮し、適切で計画的な道路、橋りょうの維持を行っていく。また、生活道路についても予防保全型の計画的な修繕に努める。 ・令和元年度より道路パトロール業務委託を開始し、危険箇所の早期発見、早期対応ができるようになったことから、今後も継続して実施していく。 ・職員の研修等により、専門知識の習得に努める。また、再任用職員の活用を図る。 																																						
	<p>■重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>幹線道路の整備</td> <td>都市計画道路整備事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>道路維持管理の充実</td> <td>道路維持事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>道路維持管理の充実</td> <td>橋りょう維持事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>生活道路の整備</td> <td>道路改良等事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>道路維持管理の充実</td> <td>道路管理事務</td> </tr> </tbody> </table>	No.	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	03	01	幹線道路の整備	都市計画道路整備事業	2	05	03	04	道路維持管理の充実	道路維持事業	3	05	03	04	道路維持管理の充実	橋りょう維持事業	4	05	03	02	生活道路の整備	道路改良等事業	5	05	03	04	道路維持管理の充実
No.	施策コード			施策の内容	事務事業																																		
	章	節	施策																																				
1	05	03	01	幹線道路の整備	都市計画道路整備事業																																		
2	05	03	04	道路維持管理の充実	道路維持事業																																		
3	05	03	04	道路維持管理の充実	橋りょう維持事業																																		
4	05	03	02	生活道路の整備	道路改良等事業																																		
5	05	03	04	道路維持管理の充実	道路管理事務																																		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	03	01	都市計画道路整備事業	■			建設部	道路治水課	162,362	●	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	5,188	●	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	03	02	道路用地取得事業				建設部	道路治水課	34,939	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	03	02	道路改良等事業	■			建設部	道路治水課	60,726	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11,571	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	04	道路維持事業	■			建設部	道路治水課	232,392	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	04	橋りょう維持事業	■		■	建設部	道路治水課	71,993	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	04	道路管理事務				建設部	道路治水課	19,311	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	05	つくばエクスプレス利便性向上事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	59	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	06	地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	95	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	07	路線バス網整備促進事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	31,672	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
										593,294	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●都市デザイン部 生活安全部	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり			建設部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	74.1%	75.1%	77.8%	77.8%	78.1%					
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%	74.8%	75.8%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	167,550	2	1	1	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	95,665	2	1	1	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	335,267	4	2	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	59	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	95	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	31,623	1	0	1	0	交通防犯課
8						
9						
計	630,259	11	4	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> 交通実態の把握、分析、将来交通量の予測、交通施設の必要性及び規模に関し、総合的な検討を行います。 良好な都市環境を確保するため整備することが必要な道路については、周辺の市街地の状況等に応じて、都市計画決定及び変更を行います。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 本市の総合的な道路交通体系の在り方を検討するため、社会経済情勢や現行の道路網構想における課題等を踏まえ、実現性のある都市計画道路網構想の見直しを2ヶ年で行うこととした。 初年度としては、庁内検討会や有識者ヒアリングを実施し、計画方針等について検討を行った。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input type="checkbox"/> ある程度課題がある <input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業地内の八潮三郷東西線の見直しについては、施行者等との協議・調整が必要である。 現行の道路網構想において、長期未着手の都市計画道路や、検討が進んでいない構想路線があり、見直しが必要である。 		

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他			
施策の展開方針	(説明)			
	<ul style="list-style-type: none"> 八潮三郷東西線については、関係課及び土地区画整理事業の施行者と調整しながら、都市計画変更の時期について協議を進める。 都市計画道路網構想見直しについては、本市の交通体系の整備の在り方等の検討を行い、事業未着手の都市計画道路の対応や、人口減少時代など社会経済状況等を見据えた実現性のある都市計画道路網構想として見直しを行う。 			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード		施策の内容	事務事業
	章	節 施策		
1	05	03 01	幹線道路の整備	都市計画道路決定事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<ul style="list-style-type: none"> 実現性の高い都市計画道路網構想とするため、見直しに向け計画方針等を検討した。 以上のことから、総合評価を順調と判断した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	05	03	01	都市計画道路整備事業	■			建設部	道路治水課	162,362	●	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	5,188	●	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	03	02	道路用地取得事業				建設部	道路治水課	34,939	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	03	02	道路改良等事業	■			建設部	道路治水課	60,726	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11,571	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	道路維持事業	■			建設部	道路治水課	232,392	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	橋りょう維持事業	■		■	建設部	道路治水課	71,993	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	04	道路管理事務				建設部	道路治水課	19,311	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	05	つくばエクスプレス利便性向上事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	59	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	06	地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	95	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	07	路線バス網整備促進事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	31,623	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
										5,188	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●都市デザイン部		
	節	4	水と緑ゆたかな都市景観づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市民が、自然環境に親しみ、地域の特性が活かされた街並みの中で暮らしています。また、市民が自ら公園管理や緑化活動等に取り組んでおり、身近な公園や水辺でやすらぎと潤いを感じながら暮らしています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 景観計画届出における景観配慮の誘導件数	315件	—	—	—	—	600件	—	—	—	—	850件
	—	456件	500件	539件	568件	606件					
② 市民一人当たりの都市公園面積	1.94㎡/人	—	—	—	—	2.0㎡/人	—	—	—	—	2.6㎡/人
	—	2.19㎡/人	2.15㎡/人	2.11㎡/人	2.11㎡/人	2.10㎡/人					
③ 緑道・遊歩道（親水化）整備延長	6,700m	—	—	—	—	7,200m	—	—	—	—	7,800m
	—	6,700m	6,700m	6,982m	7,177m	8,002m					
④ 町会・自治会等公園管理委託	37箇所	—	—	—	—	38箇所	—	—	—	—	42箇所
	—	36箇所	41箇所	42箇所	44箇所	38箇所					
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 八潮らしい魅力ある景観形成	1,000	1	0	1	0	都市計画課
2 調和のとれた良好な街並み景観の保全	155	1	0	1	0	都市計画課
3 快適な公共空間のデザイン誘導	0	1	0	0	1	都市計画課
4 公園の整備	197,633	2	0	2	0	公園みどり課
5 緑道・遊歩道の整備	102,168	1	1	0	0	公園みどり課
6 緑地・水辺の保全、緑化の推進	1,749	1	0	1	0	公園みどり課
7						
8						
9						
計	302,705	7	1	5	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	4	水と緑ゆたかな都市景観づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮らしい街並みの形成に向けた取組みのほか、良好な街並み景観の保全に向けて管理不全状態の空家等の適正管理や屋外広告物の適正誘導を行うなどの景観施策を総合的に展開します。 ・公園等整備については、スポーツレクリエーション機能や防災公園のほか、市民に身近な公園を整備するとともに、既存公園については、計画的、効果的な改修を進めます。 ・緑道、遊歩道については、河川や用水路等の資源を活用し、景観に配慮した整備を進め、水と緑のネットワークの形成を図ります。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮らしい街並み景観形成に向け補助制度で1件を誘導した。 ・空家等の対策を推進するため、管理状態の悪い空家等を中心に助言等を行うとともに、空家等所有者に適正管理の通知を行った。 ・公園等整備については、南部西地区近隣公園の整備に向け実施設計を行った。また、防災公園の整備に向け、地権者対応、整備手法等について庁内で検討を行った。 ・緑道、遊歩道については、葛西用水において中馬場橋から新境橋の区間の親水化整備を行った。 		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの八潮らしい街並み景観形成に向けた補助制度の実績が8年で6件、分譲住宅認定制度で1件11棟の誘導ができたが、認定制度を中心に更なる周知が必要である。 ・増加する空家等の苦情に迅速に対応する必要がある。 ・防災公園の整備に向けて、地権者対応、整備手法及び実施時期についての検討や、財源確保にあたって他事業との調整を図る必要がある。 ・市内の公園の5割以上が整備後30年以上経過しているため、公園施設の経年劣化が進行しており、計画的な改修や、効率的な維持管理が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮らしい街並み景観形成の実績は補助制度で1件を誘導した。 ・空家等対策については、管理状態の悪い空家等を中心に助言等を行ったことから、管理不全状態にある特定空家等の認定に至らなかった。 ・南部西地区近隣公園の整備に向けた実施設計を行った。 ・葛西用水の親水化整備については、計画通り完成できた。 <p>以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・八潮らしい街並み景観形成に向け、分譲住宅認定制度を中心に更なる周知を図り誘導していく。 ・空家等の対策を推進するため、空家等解体支援制度や関係団体等から成る（仮称）まちづくりセンターの設置に向け検討する。 ・防災公園の整備に向け、地権者対応、整備手法及び実施時期の検討、また、財源確保等について調整を行う。 ・緑道、遊歩道は、親水化整備をした箇所について、地元町会等との協働による維持管理を推進する。 ・経年劣化した公園施設等による利用者の事故防止のため、危険性の高い施設から優先的に改修していくとともに、効率的な維持管理を行うため、公園施設の改修計画の作成や指定管理制度の導入等について検討をする。 																																							
■ 重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>04</td> <td>公園の整備</td> <td>公園等整備事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>04</td> <td>公園の整備</td> <td>公園等維持管理事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>05</td> <td>緑道・遊歩道の整備</td> <td>緑道・遊歩道整備事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>02</td> <td>調和のとれた良好な街並み景観の保全</td> <td>良好な都市景観形成事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>八潮らしい魅力ある景観形成</td> <td>八潮街並みづくり推進事業</td> </tr> </tbody> </table>	No.	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	04	04	公園の整備	公園等整備事業	2	05	04	04	公園の整備	公園等維持管理事業	3	05	04	05	緑道・遊歩道の整備	緑道・遊歩道整備事業	4	05	04	02	調和のとれた良好な街並み景観の保全	良好な都市景観形成事業	5	05	04	01	八潮らしい魅力ある景観形成	八潮街並みづくり推進事業
No.	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	05	04	04	公園の整備	公園等整備事業																																			
2	05	04	04	公園の整備	公園等維持管理事業																																			
3	05	04	05	緑道・遊歩道の整備	緑道・遊歩道整備事業																																			
4	05	04	02	調和のとれた良好な街並み景観の保全	良好な都市景観形成事業																																			
5	05	04	01	八潮らしい魅力ある景観形成	八潮街並みづくり推進事業																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●	水道部		
	節	5	安全な水を供給する体制づくり					

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	誰もがいつでも安全・安心な水道水を利用しています。
-------------------------	---	------	---------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 基幹管路耐震化率	22.00%	—	—	—	—	30%	—	—	—	—	40%
	—	24.2%	24.3%	25.0%	25.4%	27.1%					
② 直結給水率	78.40%	—	—	—	—	81%	—	—	—	—	83%
	—	79.6%	78.8%	79.7%	80.1%	80.5%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的な浄配水施設の整備	649,832	2	0	2	0	施設課
2 安定給水と浄配水施設の維持管理	260,034	2	0	2	0	施設課
3 効率的な水運用の推進	584,392	2	1	1	0	経営課、施設課
4 水質管理の充実	9,420	2	1	1	0	施設課
5 水源の確保	46,990	1	0	1	0	施設課
6 顧客サービスの向上	81,840	2	2	0	0	経営課
7						
8						
9						
計	1,632,508	11	4	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	水道部
	節	5	安全な水を供給する体制づくり	評価者名	大山 敏
評価主体が推進する施策の概要	①浄配水場施設更新整備事業：安全な水道水を供給するため、浄配水場老朽化施設の更新整備を行う。 ②浄配水場施設維持管理事業：安全な水道水を供給するため、浄配水場老朽化施設の計画的な修繕・整備を行う。 ③配水管等耐震化事業：安全な水道水を供給するため、配水管等の更新工事により耐震化を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>浄配水場施設更新関係では、中央浄水場配水施設更新（場内配管その4）工事（令和2～3年度継続工事）を契約した。</p> <p>配水管等耐震化関係では、土地区画整理事業区域内等において配水管の新設工事を2,128m、また石綿セメント管等の布設替工事を2,119m実施した。その内、基幹管路等耐震化（第3期）工事は、250mが完成した。</p> <p>これにより石綿セメント管698m、老朽化したポリエチレン管等を2,100m廃止した。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>基幹管路耐震化率は、目標値を2.9ポイント下回った。主な要因としては、①基幹管路等耐震化工事は、逐次進めているが、周辺地域の配水管内の圧力変動や濁り水の発生を防止するため、ある程度の区域間の耐震管整備が完了した後でないと、供用開始及び既設管の廃止が行えないこと、②基幹管路等耐震化（第4期）以降の工事において、占用予定位置に支障物があることが判明しており、対応策の検討に期間を要していることが挙げられる。</p> <p>今後についても、安全で安定した水道水を供給するため、最適な工事計画を策定し、耐震化率の向上に努めていく。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	令和2年度に予定していた事業は、ほぼ予定通り実施しており、概ね順調に進んでいる。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進 → ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他		
施策の展開方針	(説明) 本市の水道事業は、平成29年度策定の「八潮市水道事業ビジョン」（計画期間：平成30年度から令和9年度）に基づき事業を推進している。 この八潮市水道事業ビジョンでは、浄配水場施設更新整備事業として主に中央浄水場配水施設更新事業や、配水管等耐震化事業では、基幹管路等を含めた配水管の耐震化を推進している状況である。 施策の展開方針としては、引き続き配水管の耐震化を進め、更に中央浄水場配水施設更新事業の完了後、老朽化が進んでいる浄水処理施設の更新や、機械電気設備についても計画的に修繕・更新を進めていく。 そのためには、持続的な水道事業経営を進めるにあたり、今後想定される人口減少による給水収益の減少や社会情勢、経済状況等を踏まえ経営戦略の見直しを検討し、健全な水道事業の経営基盤強化に努めていく。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	05 05 01	計画的な浄配水施設の整備	浄配水場施設更新整備事業
2	05 05 01	計画的な浄配水施設の整備	配水管等耐震化事業
3	05 05 02	安定給水と浄配水施設の維持管理	浄配水場施設維持管理事業
4	05 05 02	安定給水と浄配水施設の維持管理	配水管等維持管理事業
5	05 05 05	水源の確保	自己水源井の更新及び維持管理事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	05	01	浄配水場施設更新整備事業	■		■	水道部	施設課	53,252	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	01	配水管等耐震化事業	■		■	水道部	施設課	596,580	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	02	浄配水場施設維持管理事業	■			水道部	施設課	167,606	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	02	配水管等維持管理事業	■			水道部	施設課	92,427	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	03	県水適正受水の確保事業				水道部	施設課	583,842	-	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	03	水の有効活用推進事業				水道部	経営課	550	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	04	良質な水の確保事業				水道部	施設課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	04	水質測定機器等の整備及び維持管理事業				水道部	施設課	9,420	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	05	自己水源井の更新及び維持管理事業				水道部	施設課	46,990	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	06	民間への業務委託推進事業				水道部	経営課	81,840	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	05	06	直結給水向上事業	■			水道部	経営課		○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										1,632,507		部の事業費計			

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●建設部		
	節	6	治水と水循環によるまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	河川改修や排水施設等の整備が進み、市民が水害に対する安全性が向上したまちで暮らしています。また、公共下水道整備区域の拡大により、生活排水等が適切に処理され、河川等の水質が守られるとともに、下水道事業の持続可能な経営が行われています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 公共下水道普及率（人口）	74.70%	—	—	—	—	80%	—	—	—	—	87%
	—	77.2% (74.6%)	78.9 (76.1)	79.3 (76.2)	80.2 (76.8)	81.2 (77.7)					
② 公共下水道水洗化率（人口）	88.60%	—	—	—	—	94%	—	—	—	—	96%
	—	91.3%	91.6%	91.6%	91.6%	92.1%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 治水対策の推進	306,449	5	0	4	1	道路治水課、下水道課
2 維持管理の充実	1,235,223	5	0	4	1	道路治水課、下水道課
3 水質汚濁の防止	2,079,159	5	1	4	0	下水道課
4 河川改修事業の促進	0	1	0	1	0	道路治水課
5						
6						
7						
8						
9						
計	3,620,831	16	1	13	2	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	建設部
	節	6	治水と水循環によるまちづくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が推進する施策の概要	<p>(1) 治水対策の推進：雨水幹線等の整備を推進するとともに、内水排除の機能向上に努める。また、雨水貯留施設等の整備を促進する。</p> <p>(2) 維持管理の充実：維持管理体制を充実し、計画的に点検・改修を行うとともに、耐震化を推進する。また、排水施設の更新・改修や排水路のしゅんせつ等、適正な維持管理を行う。</p> <p>(3) 水質汚濁の防止：中川等の水質汚濁を防止するため、公共下水道（污水）の整備を積極的に行う。また、水洗化促進の取組を行い、水洗化率の向上を図るとともに、安定した下水道経営を推進する。</p> <p>(4) 河川改修事業の促進：中川等について、国や県による改修事業を促進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>(1) 治水対策の推進：雨水管渠等整備284.2m、水路整備工事 225m、水路応急工事 55件、市民要望対応（職員対応 136件）</p> <p>(2) 維持管理の充実：下水道管渠の清掃・中継ポンプ場の維持管理、改修工事、南後谷ポンプ場改修工事、排水路のしゅんせつ、清掃の実施、排水機場及び排水施設の修繕、更新工事</p> <p>(3) 水質汚濁の防止：下水道普及率81.2%(77.7%) 汚水管渠整備3.8Km *普及率の()は、総務省方式の値</p> <p>(4) 河川改修事業の促進：国県への要望、整備に関する協議</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>(1) 公共下水道(雨水)の整備には、多くの費用と時間を要するため、下水道の整備が進むまでは、現況水路の機能向上を図っているが、土地利用の変化など雨水流出量が増えていることから、計画的な水路整備が必要である。</p> <p>(2) 下水道施設について、計画的な更新、耐震化を図るためには、多額の財源確保が必要である。</p> <p>(3) 公共下水道(污水)の普及のため、人口密度の高い地区への重点投資を行い、早期の未普及解消に努める必要がある。</p> <p>(4) 排水機場、排水施設の設備について、限られた予算の中で適切な時期に更新できていない。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	各事業ともおおむね順調と評価できるものの、今後の事業実施にあたっては、多額の事業費と時間を要するなどの課題がある。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中川河川改修事業の整備スケジュールを考慮しながら、ポンプ場や雨水幹線等の整備を計画的に推進し、内水排除機能の向上を図る。しかしながら、整備には、多くの費用と時間を要することから同時に、治水対策として、浸水被害を軽減するため、現況の水路の構造物等を調査し、効果的、計画的な水路整備を実施していく。 下水道施設の耐震化・長寿命化を行うために、事業の平準化を図りながら、国庫補助金を積極的に導入し、財政負担の軽減に努める。 公営企業会計へ移行し、投資効果の高い地区を重点的に整備することで、更なる経営の安定化に努めていく。 排水機場については、修繕計画を策定し、計画的な修繕に努める。なお、当面の間は、修繕等で応急的に対応しつつ、保守点検結果により状態の悪い設備から順次更新していく。 		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	05 06 01	治水対策の推進	水路整備事業
2	05 06 01	治水対策の推進	排水機場施設整備事業
3	05 06 01	治水対策の推進	雨水整備事業
4	05 06 03	水質汚濁の防止	污水整備事業
5	05 06 02	維持管理の充実	維持管理事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	06	01	水路整備事業	■		■	建設部	道路治水課	64,460	●	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	06	01	排水機場施設整備事業	■			建設部	道路治水課	0	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	06	01	都市下水道整備事業	■			建設部	下水道課	35	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	06	01	雨水流出抑制対策事業				建設部	下水道課	91	○	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	06	01	雨水整備事業	■		■	建設部	下水道課	241,863	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	06	02	排水路維持管理事業	■			建設部	道路治水課	118,819	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	06	02	水路管理事務				建設部	道路治水課	8,420	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	06	02	排水機場施設維持更新事業	■		■	建設部	道路治水課	126,129	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	06	02	施設改修事業	■			建設部	下水道課	466,971	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	06	02	維持管理事業				建設部	下水道課	514,883	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	06	03	公共下水道推進事業	■			建設部	下水道課	1,056,524	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	06	03	一般管理事務				建設部	下水道課	4,517	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	05	06	03	中川流域下水道建設事業				建設部	下水道課	105,689	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	06	03	汚水整備事業	■			建設部	下水道課	904,315	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	06	03	水洗化促進事業				建設部	下水道課	8,113	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	05	06	04	河川改修促進事業				建設部	道路治水課		○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										3,620,830	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない， ○：ある程度課題がある， ●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調， ☆☆：概ね順調， ☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●建設部	都市デザイン部
	節	7	安全で良質な住環境づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	様々な世代、生活様式に対応した住宅が安定して供給され、市民が良質な住まいで安心して暮らしています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づく改修率（共同施設、住戸）	0%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	20%	20%	40%	60%	100%	—	—	—	—	—
② 住宅の耐震化率	78.80%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	—
	—	82%	83%	84%	86%	83%	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 市営住宅の充実	69,837	3	1	2	0	市営住宅課
2 良質な住宅確保の促進	14,696	4	1	0	3	市営住宅課、都市計画課、開発建築課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	84,533	7	2	2	3	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	建設部
	節	7	安全で良質な住環境づくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が推進する施策の概要	<p>(1) 市営住宅の充実：居住環境を維持するため、適宜修繕等を行い、更新期を迎えている低層市営住宅は、民間住宅の活用も視野に入れた施策を実施する。また、中層市営住宅については、「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的に改修工事を実施する。</p> <p>(2) 良質な住宅の供給促進：高齢者や障がいのある人への配慮、福祉の施策と連携を図りながら総合的な住宅施策を実施する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>(1) 市営住宅の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の居住環境を維持するため、修繕等を実施した。 「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づき、中馬場住宅1・2号棟の改修工事を実施した。 <p>(2) 良質な住宅の供給促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の居住の安定を確保するため、高齢者向け優良賃貸住宅へ家賃減額補助を実施した。 		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>(1) 市営住宅の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 低層市営住宅の整備については、市営住宅整備計画に基づき、民間賃貸住宅の借上げを計画的に実施するため、公募方法、地域住宅要件、選定基準等、十分に検討する必要がある。 借上げ住宅の実施による既存入居者への対応として、引越し費用算出のための委託料、引越し費用等、住宅を借上げる費用以外にも一時的な経費を要する。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向け住宅については、民間が整備する高齢者向け優良賃貸住宅に対する支援を行い、居住の安定が図られた。 長寿命化を図るべき中層市営住宅である中馬場住宅1・2号棟の改修工事を実施した。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																								
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長寿命化を図るべき中層市営住宅については、今年度目標を達成したため、今後は令和3年度に見直しを行う「市営住宅長寿命化計画」に基づき、財政負担を考慮し、計画的に改修を進める。 更新期を迎えている低層市営住宅については、市営住宅整備計画に基づき、民間賃貸住宅の借上げに移行する。 高齢者向け住宅については、民間が整備する高齢者向け優良賃貸住宅に対する家賃対策補助を認定期間満了まで支援する。 																																								
	<p>■重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>07</td> <td>01</td> <td>市営住宅の充実</td> <td>市営住宅改修事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>07</td> <td>01</td> <td>市営住宅の充実</td> <td>市営住宅管理事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>07</td> <td>01</td> <td>市営住宅の充実</td> <td>市営住宅建替等事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>07</td> <td>02</td> <td>良質な住宅確保の促進</td> <td>高齢者向け優良賃貸住宅整備事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			No.	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	07	01	市営住宅の充実	市営住宅改修事業	2	05	07	01	市営住宅の充実	市営住宅管理事業	3	05	07	01	市営住宅の充実	市営住宅建替等事業	4	05	07	02	良質な住宅確保の促進	高齢者向け優良賃貸住宅整備事業	5				
No.	施策コード				施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																						
1	05	07	01	市営住宅の充実	市営住宅改修事業																																				
2	05	07	01	市営住宅の充実	市営住宅管理事業																																				
3	05	07	01	市営住宅の充実	市営住宅建替等事業																																				
4	05	07	02	良質な住宅確保の促進	高齢者向け優良賃貸住宅整備事業																																				
5																																									

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	07	01	市営住宅改修事業	■			建設部	市営住宅課	54,302	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	07	01	市営住宅管理事業				建設部	市営住宅課	9,397	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	07	01	市営住宅建替等事業	■			建設部	市営住宅課	6,138	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	07	02	高齢者向け優良賃貸住宅整備事業				建設部	市営住宅課	12,720	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	07	02	住生活基本計画策定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	○	☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	07	02	建築行政事務				都市デザイン部	開発建築課	1,919	○	☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	07	02	民間住宅等耐震化促進事業	■			都市デザイン部	開発建築課	57	●	☆	見直して継続	増加	増加
										82,557		部の事業費計			

【課題】 —：課題はほとんどない， ○：ある程度課題がある， ●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調， ☆☆：概ね順調， ☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●都市デザイン部	建設部
	節	7	安全で良質な住環境づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	様々な世代、生活様式に対応した住宅が安定して供給され、市民が良質な住まいで安心して暮らしています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づく改修率（共同施設、住戸）	0%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	0.2	0.2	40%	0.6						
② 住宅の耐震化率	78.80%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	—
	—	82%	83%	84%	86%	83%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 市営住宅の充実	69,837	3	1	2	0	市営住宅課
2 良質な住宅確保の促進	14,696	4	1	0	3	市営住宅課、都市計画課、開発建築課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	84,533	7	2	2	3	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	7	安全で良質な住環境づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> 住宅施策の体系的整理を行い、住生活基本計画策定に向けた調査、研究を行います。 民間住宅の耐震性を確保するよう耐震相談や、簡易耐震診断を行うとともに、耐震化に関する助成制度を実施します。 住宅の安全性を確保するため、建築確認検査制度を適正に運用します。 通学路等の安全性を確保するため、ブロック塀等の安全対策を推進します。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 住宅施策のうち、埼玉県マンション管理士会主催の無料相談会を、埼玉県東部6市で順次実施した。（八潮市は8月に実施、2月はコロナ禍のため開催見合わせ） 民間住宅の耐震性を確保するよう昭和56年6月以前に旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震診断・耐震改修補助金交付制度についてPRを実施した。 地震によるブロック塀等の倒壊を防止するため、危険ブロック塀等撤去改修補助金制度についてPRを実施し、撤去1件に補助金を交付した。 建築基準法等、関係法令に基づき適正に事務を執行した。 		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 住生活基本計画の策定には、高齢者の居住や子育てに適した住宅及び公営住宅に関する事など、庁内における横断的な体制等による検討が必要である。 地震による建築物及びブロック塀等の倒壊の危険性について、所有者の意識を高め安全対策を推進する必要がある。 関係法令の適正な執行や違反建築物に対応するためには、有資格者の育成・確保や十分な経験を積む必要がある。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆ 遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 住生活基本計画の策定に向けた準備が進んでいない。 補助金交付事業については、コロナ禍で啓発活動が十分できなかったため、危険ブロック塀等撤去1件のみであった。 確認検査業務の実績が少なく十分な経験が積めず、的確な審査を行うことができなかった。 <p>以上のことから、総合評価を遅れと判断した。</p>

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 住生活基本計画の必要性や、策定するための方法、手段、期間について検討を行うとともに、住宅施策を実施するために庁内の横断的な体制についても検討を行う。 木造住宅やブロック塀等の安全性を確保するため、耐震化対策について啓発活動を推進するとともに、更なる補助金交付制度の拡充等について検討を行う。 違反建築物の防止に取り組むとともに、執行体制を強化するため、有資格者の育成、確保について検討を行う。 																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>07</td> <td>02</td> <td>良質な住宅確保の促進</td> <td>民間住宅等耐震化促進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	07	02	良質な住宅確保の促進	民間住宅等耐震化促進事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	05	07	02	良質な住宅確保の促進	民間住宅等耐震化促進事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	05	07	01	市営住宅改修事業	■			建設部	市営住宅課	54,302	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	07	01	市営住宅管理事業				建設部	市営住宅課	9,397	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	07	01	市営住宅建替等事業	■			建設部	市営住宅課	6,138	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	07	02	高齢者向け優良賃貸住宅整備事業				建設部	市営住宅課	12,720	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	07	02	住生活基本計画策定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	○	☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	07	02	建築行政事務				都市デザイン部	開発建築課	1,919	○	☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	07	02	民間住宅等耐震化促進事業	■			都市デザイン部	開発建築課	57	●	☆	見直して継続	増加	増加
										1,976	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●生活安全部		
	節	8	環境にやさしいまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市民は、水と豊かな緑に囲まれた地域の自然や生活環境を守り、自然とふれあいながら生活しています。また、市民と行政が一体となって、地球温暖化の防止のための省エネルギーやエコ活動等の環境活動に取り組んでいます。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 市の事務・事業に伴い排出する温室効果ガス排出量 （埼玉県の中期目標「平成32年までに平成17年比25%削減」に準じる。）	4,637t-CO2	—	—	—	—	4,308 t-CO2	—	—	—	—	—
	—	5,824 t-CO2	6,617 t-CO2	6,569 t-CO2	6,009 t-CO2	5,906 t-CO2					
② 市内の河川の水質基準達成率	50%	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	65%
	—	70%	60%	50%	60%	60%					
③ 市内における太陽光発電設備の発電容量の累計	8,878 kW	—	—	—	—	9,640 kW	—	—	—	—	—
	—	12,191 kW	12,932 kW	14,021 kW	14,733 kW	15,267 kW					
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地球環境問題への対応	1,050	1	0	1	0	環境リサイクル課
2 環境保全対策への推進	176	1	0	1	0	環境リサイクル課
3 環境汚染防止への取組	3,251	2	1	1	0	環境リサイクル課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,477	4	1	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	0
	節	8	環境にやさしいまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. 環境保全対策への推進 環境市民団体等と連携して自然保護や環境保全に努めるとともに、八潮市環境マネジメントシステムに基づきエコオフィスに取り組みます。 2. 地球環境問題への対応 八潮市地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）に基づき温室効果ガスの排出削減に取り組みます。 3. 環境汚染防止への取組 環境汚染物質や放射線量を定期的に測定するなど良好な生活環境の維持に努めます。また、公害防止対策として工場等の立ち入り調査を実施するとともに、必要に応じて適切な指導を行います。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 環境市民団体等と連携して実施する「自然環境調査」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止しました。 市民まつりや消費生活展などで実施する環境保全に関する啓発は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止しました。 住宅用太陽光発電システム設置費補助金を35件総額105万円交付しました。 公害に関する苦情171件（大気汚染20件、水質汚濁1件、騒音47件、振動11件、悪臭13件、その他79件）に対応しました。 給食食材や農産物の放射能濃度を測定し安全を確認しました。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な開発目標（SDGs）の考えに基づいて環境施策の具現化を図る必要がある。 市民や市内事業所などを対象とした八潮市地球温暖化防止対策実行計画（区域・施策編）の策定を検討する必要がある。 基準値を超えていない公害に対する苦情が多く住民感情に配慮した親切的な対応が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	コロナ禍の中、エコオフィスの取組や住宅用太陽光発電システム設置費補助金を交付し自然エネルギーの活用を促進するなど地球温暖化防止対策が進められていること。また、市民生活に影響がある公害等の苦情対応や放射性物質の測定等が適切に実施されていることから概ね順調と評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な開発目標（SDGs）に基づく施策の実行については、先進自治体の取組状況などを参考に検討する。 自然保護や環境保全については、環境市民団体等と連携し事業の充実を図る。 八潮市地球温暖化防止対策実行計画（区域・施策編）の策定については、八潮市環境基本計画や気候変動適応計画などを考慮に入れながら先進自治体の取組状況などを参考に検討する。 人間関係や地域コミュニティに起因する苦情が増えており、市民の立場に立った親切的な対応を心掛ける。 給食食材や農産物の放射能濃度の測定については、東京電力福島第一原子力発電所の事故から10年を迎え所期の目的は達成したと考えられることから今後の事業展開を検討する。 		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	05 08 01		循環型社会推進事業
2	05 08 02		環境保全対策推進事業
3	05 08 03		公害対策事業
4	05 08 03		放射能対策事業
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	05	08	01	循環型社会推進事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	1,050	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	08	02	環境保全対策推進事業	■	■		生活安全部	環境リサイクル課	176	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	08	03	公害対策事業				生活安全部	環境リサイクル課	2,715	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	08	03	放射能対策事業				生活安全部	環境リサイクル課	536	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
										0部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●生活安全部		
	節	9	清潔できれいなまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	循環型社会の構築に向けて、市民、事業者、行政が一体となり様々な施策に取り組み、ごみの資源化及び減量化が進んでいます。また、排出されたごみが適正に処理されています。さらに、市民が主体となって「自分たちのまちは自分たちできれいに」を基本に美化活動が実施され、きれいな環境が整っています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 一人一日当たりのごみ搬出量（家庭系可燃ごみ）	570グラム	—	—	—	—	545グラム	—	—	—	—	520グラム
	—	565グラム	549グラム	546グラム	548グラム	564グラム					
② 資源化率（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ（事業系含む）のうち、資源となるものの割合）	12.00%	—	—	—	—	15%	—	—	—	—	20%
	—	11.7%	15.3%	15.4%	16.2%	15.4%					
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 ごみの広域処理の充実	362,672	1	0	1	0	環境リサイクル課
2 ごみの独自処理の充実	185,927	3	0	1	2	環境リサイクル課 リサイクルプラザ
3 ごみの減量化・資源化の推進	390,493	4	2	2	0	環境リサイクル課、環境リサイクル課 リサイクルプラザ
4 環境衛生事業の充実	14,794	5	0	5	0	環境リサイクル課
5 環境美化活動の推進	1,495	2	1	1	0	環境リサイクル課
6						
7						
8						
9						
計	955,381	15	3	10	2	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	0
	節	9	清潔できれいなまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. ごみの広域処理の充実 東埼玉資源環境組合及びその構成市町と連携し、燃えるごみと尿の適切な処理に努めます。 2. ごみの独自処理の充実 ごみの資源化を推進するため、リサイクルプラザの適切な維持管理と長寿命化に取り組みます。 3. ごみの減量化・資源化の推進 ごみの分別の徹底を図るため、広報やしおやごみカレンダーをわかりやすく工夫するとともに、収集体制の充実を図ります。また、資源回収を行った団体に対し、奨励金を交付し活動を支援します。 4. 環境衛生事業の充実 害虫駆除や雑草除去、狂犬病の予防注射やペットの適正飼養、浄化槽の適正な管理など多岐にわたる環境衛生事業を計画的に推進します。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ・八潮市一般廃棄物処理実施計画に基づき燃えるごみ、資源ごみ、燃えないごみ、粗大ごみ等を処理しました。 ・ごみを運ぶことが困難な高齢者や障がいのある方の家庭のごみを戸別に収集する「まごころ収集」を実施しました。 ・リサイクルプラザに搬入された粗大ごみ等を細かく分別して資源化しました。 ・資源回収した71団体に対し、奨励金5,244,100円を交付しました。 ・獣医師の協力のもと狂犬予防法に基づき2,804頭に注射をしました。 ・飼い主不明等の動物死体395頭を収容し火葬しました。		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
課題	・1人1日当たりの家庭系可燃ごみの排出量が東埼玉資源環境組合構成市の中で一番多い状況である。 ・リサイクルプラザの設備や人員の関係で粗大ごみの処理に時間を要し、混雑しているときには回収の予約が2か月先という状況が発生している。 ・法の施行に伴い廃プラスチック処理が社会問題となっており今後の検討が求められている。 ・リサイクルプラザの長寿命化とあわせて建替えの検討が必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	東埼玉資源環境組合及びその構成市町と連携したごみの減量化、リサイクルプラザにおける徹底したごみの資源化、更にはペットボトルの回収方法の変更に取り組んでいたことから概ね順調と評価する。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	(説明) ・ごみの減量化を推進するため、具体的な方法として食品ロスや水切りの徹底を図る。 ・リサイクルプラザの長寿命化を図るため、計画的な修繕を実施する。 ・廃プラスチック処理など大きな課題については、必要に応じて広域（東埼玉資源環境組合）で検討する。 ・ペットボトルの収集については、令和3年4月1日より回収用ネット袋にペットボトルだけを入れる方法に変更するとともに、引き続き、周知の徹底を図り更なる改善に努める。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	05 09 03		ごみ収集運搬事業
2	05 09 03		リサイクル活動推進事業
3	05 09 03		清掃行政推進事業
4	05 09 04		環境衛生推進事業
5	05 09 04		動物愛護事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	05	09	01	広域処理事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	362,672	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	09	02	リサイクルプラザ管理運営事業				生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	172,728	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	09	02	リサイクルプラザ改修・備品整備事業	■			生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	12,253	●	☆	見直して継続	増加	増加
	05	09	02	リサイクルプラザ環境整備事業				生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	946	●	☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	05	09	03	清掃行政推進事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	127	—	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	09	03	し尿処理事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	10,239	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	03	ごみ収集運搬事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	372,863	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	05	09	03	リサイクル活動推進事業				生活安全部	環境リサイクル課 リサイクルプラザ	7,264	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	畜犬登録等事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	179	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	環境衛生推進事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	2,909	—	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	防疫・草刈事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	4,410	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	動物愛護事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	1,938	—	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	04	浄化槽適正管理促進事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	5,358	—	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	05	ゴミゼロ運動事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	09	05	清掃美化活動推進事業	■			生活安全部	環境リサイクル課	1,495	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										0部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ